

| | | |
|---------------------------------|--------|-------|
| 補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画） | 154(3) | 文化振興課 |
|---------------------------------|--------|-------|

| | | | |
|----------------------|--|------------|------------------|
| 補助金の名称 | 西尾市文化振興関係団体活動費補助金(文化協会補助金) | | |
| (規則・要綱名) | 西尾市文化振興関係団体活動費補助金交付要綱 | | |
| 補助事業の概要 及び交付先 | 西尾市内の文化協会の育成及び活動費に対する補助を行い、市民の文化活動活性化と西尾市の文化発展を図る。交付先:吉良地域文化協会 | | |
| 補助金の額 | 平成28年度決算 | 平成29年度予算 | 平成30年度予算 |
| | 560,000円 | 560,000円 | 532,000円 |
| 分類 | 形態による分類 | 期間による分類 | 目的・性格による分類 |
| | 市単独補助金 | 継続的補助金 | 団体運営費補助金 |
| 交付期間 | 開始年度 | H29 | 終了年度(予定) |
| | | | H33 |
| 見直し基準 1 共通事項 | ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か | | 適切 |
| | イ 市が補助すべきものか | | 補助すべきもの |
| | ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か | | 明確 |
| | エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか | | 適切(2017/04/11受理) |
| 2 個別事項 (1) 団体運営費 | ア 少額の補助金か | | 年間10万円超 |
| | イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか | | 上回っていない |
| | 平成26年度繰越金 | 平成27年度繰越金 | 平成28年度繰越金 |
| | 117,446円 | 79,137円 | 211,472円 |
| | ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか | | 超えていない |
| | エ 事業費補助金に切り替えられないか | | 検討している |
| | ※ 検討していない理由 | | |
| (2) 補助対象経費 | 補助対象経費の3分の1以内か | | 3分の1以内である |
| | ※ 補助対象経費の額 | 1,714,768円 | |
| (3) 人件費補助金 (積算内訳) | | | |
| 3 今後の方向性 | 見直した上で継続 | | |
| | 平成30年度から、前年度の約5%削減。 | | |
| 4 終期の設定 | 補助金交付要綱等に終期を設定しているか | | 設定している |

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

154(3)

文化振興課

| | | |
|---|--|-------------------------------------|
| 補助金の名称 （規則・要綱名） | 西尾市文化振興関係団体活動費補助金（文化協会補助金） 西尾市文化振興関係団体活動費補助金交付要綱 | |
| ①総合計画施策コード | 章による分類 | 3 子育て・教育・文化・スポーツ 地域を支える文化と人を育む環境づくり |
| | 項による分類 | 4 歴史文化 |
| | 施策内容による分類 | 1 市民文化の創造と芸術文化活動の推進 |
| ②市長マニフェスト | 西尾市の埋もれている地域の歴史や文化を再確認し、地域住民のみなさんと共にその地域ならではの個性ある活性化対策と、起業支援に取り組みます。 | |
| ③補助の終了年度までの目標を記載してください。 （可能な限り数値的な目標を記載） | 平成33年度 4文協の合併を進めて、補助金の一本化を図る。 | |
| | 上記目標は、適切な目標が設定されているか。 | 設定されている |
| ④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。 | 平成26年度に補助金の見直しにより削減 平成30年度より前年度予算の5%削減 | |
| | 補助の終了年度までの目標を達成できているか。 | 進捗が見られる |
| ⑤補助の恩恵を受ける人（受益者）を記載してください。 | 吉良地域文化協会会員 | |
| | 市税の使い道として、受益者に偏りはないか。 | 偏りはない |
| ⑥補助金の交付先を記載してください。 | 吉良地域文化協会 | |
| ⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。 | 市民の文化活動活性化と西尾市の文化の発展を図る。 | |
| | 上記内容は、公益性の観点からどうか。 | メリットがある |
| ⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。 | 文化協会で行う活動運営費 均等割＋人数割 実績報告書及び収支精算書 | |
| | 上記内容は、補助金の交付先として適格か。 | 適格である |
| ⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。 | 制定年月日 | 昭和62年04月01日 |
| | 改定年月日（最終） | 平成24年04月01日 |

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

154(3)

文化振興課

| 項目 | | 平成28年度決算 | 平成29年度決算 | 平成30年度予算 | |
|----------|--------|----------|----------|----------|----------|
| 補助金の額等 | 補助金支出額 | 560,000円 | 560,000円 | 532,000円 | |
| | 補助件数 | 1件 | 1件 | 1件 | |
| | 財源 | 国庫県費 | 0円 | 0円 | 0円 |
| | | その他 | 0円 | 0円 | 0円 |
| | | 一般財源 | 560,000円 | 560,000円 | 532,000円 |
| 国庫県費等の名称 | | | | | |

補助金等検討委員会の評価

| 目標 | 達成度 | 公平性 | 公益性 | 妥当性 | 効率性 | 適格性 |
|--|-------------------------|----------------------------------|---|-----------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
| 成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。 | 目標を達成できているか。実現に近づいているか。 | 受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。 | 社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。 | 成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。 | 手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。 | 補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。 |
| D | C | D | C | C | D | D |
| 評価結果 | 補助金等検討委員会 | | 補助金検討委員会からのコメント | | | |
| | 廃止検討 | | 団体運営費補助から事業費補助に切り替え、文化振興団体からの補助金申請に対し審査した上で補助金を交付するような制度に改めていただきたい。 | | | |
| 補助金等検討委員会の主な意見 | | | | | | |
| 文化振興団体の事業ごとに事業内容を審査し、補助金を交付するようになりたい。 | | | | | | |
| 補助金交付団体の既得権益化にならないように文化振興団体間の競争原理が働くような制度にしていきたい。 | | | | | | |
| 文化振興政策等に合致するのであれば、文化協会の合併を促進する補助金を交付する方法なども検討していきたい。 | | | | | | |
| 団体運営費として補助金を交付すると補助金の使途が不明確になりやすい。 | | | | | | |